

## R6年度芦屋市障がい者 基幹相談支援センター事業報告

### 基幹相談支援センターの職員構成

- センター長(社協)
- 相談員4名
  - (三田谷・メンタルサポート・社協2名)
- 事務職員1名(社協)

## 基幹相談支援センターの4本柱

- 専門的な相談支援
- 地域の相談支援体制の強化の取組
- 地域移行、地域定着
- 権利擁護、虐待防止

## 専門的な相談支援① (ケース対応)

- 5名の相談員が、85名を担当。(R7年2月末現在)
  - 課題複合世帯支援。
  - 計画相談員や一般相談員の後方支援や基幹相談員が担当。
  - 内、18名が虐待対応。

### 令和6年度の取組

- 基幹相談と障がい福祉課にて全ケースの共有。
- 基幹相談として担当(後方支援)するケースのイメージを具体化。

## 専門的な相談支援②

(基幹相談支援センターの機能強化)

### 基幹相談支援センターの現状分析

#### ●他市(基幹)相談支援センターへの視察(3カ所)

- ・ 神戸市基幹相談、神戸市東灘区支援センター、三田市基幹相談
- ・ (基幹)相談支援センター、自立支援協議会の取組を学ぶ。

#### ●木下先生協力による基幹相談支援センターの分析

- ・ 基幹相談を取り巻く環境要因を分析し、課題整理。
- ・ 今後の事業計画づくりに活用。



## 地域の相談支援体制の強化の取組①

(事例検討会の実施・SV研修)

### 市内相談員対象研修

- ・ 精神科医や主任相談員による事例検討会(全5回)
- ・ 強度行動障害についての事例検討会
- ・ 地域福祉研修
- ・ こども・保健センターと共同研修など。

### 市内事業所・行政職員対象研修

- ・ 虐待防止研修以外では初めて実施。
- ・ 「連携、協働、チームワーク強化研修」、61名参加。



## 地域の相談支援体制の強化の取組② (相談支援連絡会)

### 目的

- ①相互に相談支援業務のスキルアップと制度・社会資源の情報共有
- ②「横のつながり」から、「地域課題の抽出や課題解決」へ  
→相談員相互補助、メンタルヘルスの向上を図り、職場定着率を高める。

### 令和6年度の実績(4回実施)

- ・「教育と福祉の連携」「不登校児支援」「課題共有」など。
- ・ここでの課題抽出から、研修企画、マニュアルPTの取組へとつながる。



## 地域の相談支援体制の強化の取組③ (知的障がい・発達障がい疑似体験研修)

### 令和6年度の実績

- ・ ①過去にも出張講座に行かせてもらった機関
  - ・ (新任)市役所職員、市内1中学校(23人)
- ・ ②今年度初めて出張講座で行かせてもらった機関
  - ・ 市内1小学校(140名)
  - ・ ※新しいプログラムを追加
- ・ ③昨年に引き続き福祉フェアにて、疑似体験ブース出展



## 地域の相談支援体制の強化の取組④ (個別避難計画等災害に向けた取り組み検討)

### 災害時個別避難計画作成のモデル事業に参画

- 高齢相談分野・障がい相談分野・行政・社協で実施。



### 災害時個別避難計画の実践事例の報告

- 阪神・淡路大震災30年事業の取材に協力。
- まるっと説明会のミニ講演会にて実践報告。



## 地域の相談支援体制の強化の取組⑤ (障がい児・者作品展)

### 令和6年度のタイトル

- 感じるものを形にしたら、あなたもわたしもアーティスト～

### 令和6年度の実績

- 作品数168点
- 21団体・作者数264人
- 作品展開催期間に授産品販売日を実施。
- 授産品販売において、実演販売を実施(新規)





## 地域移行・地域定着(病院等への普及啓発)

### 近隣精神科病院にて啓発動画で紹介

- ・ 芦屋市内の「グループホームの一日」動画鑑賞。
- ・ 芦屋市民6名にアンケートと個別面談。

### 効果

- ・ アンケートや個別面談を通して、地域生活に向けた希望を確認できた。



### 今後の方向性

- ・ 近隣別の病院に対して、普及啓発を実施していく。

## 権利擁護・虐待防止

### ケース対応

- ・ 現時点で18件の通報(昨年度15件)

### 虐待防止研修

- ・ 令和6年9月19日
- ・ 「虐待を作り出す環境人的要因とその対処方法について」
- ・ 講師:脇 朋美氏 40名参加。



### 支援の糸口プロジェクト

- ・ 介入困難時に支援者が確認するチェックリストづくり。

## R6年度のキーワード

---

まるっと、作品展実行委員会の主体化

基幹相談の現状分析

個別避難計画等災害に向けた取り組み